

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇
事業所名	小規模多機能型居宅介護三和	管理者	廣川 丈人

法人・事業所 の特徴	「住み慣れた地域で自分らしく安心して過ごせるように生活（介護）をお手伝いします。」の理念のもと、各々がその人らしい生活が継続できるよう小規模多機能の特性を生かした支援に努めています。
---------------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	1人	1人	1人	2人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>●事業所自己評価9項目の改善計画を職員にしっかり周知し、事業所ミーティングにて定期的に評価を行う。</p>	<p>・事業所自己評価について職員全体で取り組んできた。</p> <p>・「1. 初回支援」では出来る限りの情報収集は行いが、いざ利用してから知りえる情報も多くある。また、同行訪問に関しても介護職員だけではなく、看護職員も同行し在宅環境を見てもらうようにしている。センターでの様子を知るだけではなく在宅の環境を知ることでもアプローチも変わることあるため、今後も継続して調整していく。</p> <p>・事業所自己評価自体、計画を立て、評価するまでの期間が短い状況があるが、早い段階で目標を周知し、出来る限り自分自身の取り組みの評価を行えるようにしたい。</p>	<p>・課題を持ってしっかり取り組まれている。</p> <p>・十分に評価がされていた。</p> <p>・自己評価にしっかり取り組み、各職員の意見を汲みつつ、さらなる改善点を見出そうという姿勢が伺える。</p> <p>・利用者様、ご家族様とコミュニケーションをしっかりと図られており、職員さんとの良い関係が保たれていると思う。</p> <p>・改善点を見出し常に努力されている。</p> <p>・私たちが忙しく、気付かなかったり、見過ごしてしまうような事も気付いて教えていただきありがたい。</p>	<p>●職員全員がそれぞれの項目の改善計画を意識して取り組むことができるように、定期的にミーティング等で評価をする。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>●季節折々の飾り付け、畑や花壇の手入れ等、ご利用者とともに取り組み、季節感が味わえるようにする。</p> <p>●地域の方が気軽に相談できるためのきっかけづくりに、1階の地域交流スペースの活用を企画する。</p>	<p>・2階のフロアに主に飾っている装飾など、通い利用の時間の中で季節の設えをご利用者と一緒に作成することができた。</p> <p>・季節感を味わっていただくために畑で野菜栽培を行った。秋には収穫したさつま芋で「焼き芋」をして、ご利用者の皆様と味わい、また、ご近所の方々にお配りし大変好評だった。地域とのかかわりの場にもなっていたので継続していきたい。</p> <p>・地域交流スペースの活用について、三和保育園との交流を再開する。暑さもあり、実際に三和での関わりを持つことが出来ず、地域交流スペースの活用には至らなかった。保育園との交流を再開できご利用者の喜ばれる姿が見れた。</p> <p>・認知症キッズサポーター養成講座を継続することで保育園との関りを作り、そこからワークショップなどの企画を検討し、地域交流スペースでの交流につなげていきたい。</p> <p>・今年度に携わった認知症の研修など、様々な形で地域交流スペースの活用につなげられるように検討していく。</p>	<p>・1階地域交流スペースの掲示物は見やすく、きれいに作られており、行くのが楽しみだった。</p> <p>・会議でお邪魔すると利用者の方の作品が飾られてあり、あたたかみがある。</p> <p>・玄関先の看板を有効活用し「熱中症に注意！」などの情報発信を行うなど、地域に開かれた事業所という印象を持った。</p> <p>・季節ごとの飾りつけ等がされていて良いと思う。</p> <p>・1階の地域交流スペースが地域の皆さんにも周知され、ご利用される機会が増えると思う。しかし、利用者様、ご家族様が主で一般の方のご利用があまりないのと事で勿体ない事だ。私は展示されている作品を見せていただくのがとても楽しかった。何かきっかけがあれば気軽に伺えるのかもしれない。</p>	<p>●玄関先の立て看板を有効活用し、様々な情報を発信することでサポートセンターの認知度向上を目指す。</p> <p>●地域の方々へ向け、地域交流スペースの活用を企画、PRする。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>●日々、近隣住民の方への明るい挨拶で、相談しやすい雰囲気作りを心掛ける。</p> <p>●立て看板を活用し、サポートセンターのPRを進める。</p> <p>●ご利用者が散歩やドライブ等、外で過ごす機会をつくることで、地域の方々との交流の機会を増やす。</p>	<p>・近隣にお住まいの方が散歩等で毎朝センターの前を通られるが、いつも元気に挨拶をしている。少しずつ関係性を築き、地域に根差したセンターとなるように心がけている。</p> <p>・玄関のアプローチに設置している看板を定期的に内容を変え、介護の情報だけではなく、足を止めてもらえる内容を検討し、作成を継続してきた。</p> <p>・畑作りが三和の宣伝にもなっている。「焼き芋」など目を引くものを検討し、地域との関わり方を工夫していく。</p>	<p>・様々な機会を捉えて活用し、地域に事業所を知ってもらおうという積極的な取り組みはとても素晴らしい、今後も継続していただきたい。</p> <p>・三和保育園との交流が再開されたことと、利用者様も楽しい時間を過ごされ、癒しになると思う。子どもたちにとっても核家族が多くなり、なかなか高齢の方と接する機会がない事も多いかと思う。認知症キッズサポーター講座など幼少期の頃から、高齢者と触れ合うことは、優しさや思いやりある心を育むとても素晴らしい取り組みだと思う。是非続けていきたい。</p> <p>・利用者様と通って関わった際、職員の方の対応は良いと思う。</p> <p>・補足資料、参加させていただいた運営推進会議の資料から知ることができた。</p>	<p>●共生社会を目指し、保育園との交流を継続することで異世代交流の機会を年に2回以上設ける。</p> <p>●各職員が、千手本体事業所と協働し「こよし会」及び「民児協ミニ講座」の企画・実施に取り組み、地域との繋がりを作る。</p>

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>●本体事業所と協働し、地域のニーズに応えられるよう、民児協でのミニ講座やこよし会の企画・実施に全職員が参加し取り組む。</p>	<p>・今年度は「こよし会」、「民児協ミニ講座」を予定通りに実施できている。 ・新たに保育園で「認知症キッズサポーター養成講座」を予定し、3か所での開催を調整することが出来た。実際に2か所で開催し、子供たちに楽しんで参加してもらっていた。地域における幅広い世代への福祉のアプローチを行うことが出来た。次年度の開催に向けて年度末にはアンケートを予定し、地域のニーズを確認し、地域啓発活動がより良いものになるように継続していきたい。</p>	<p>・日々の業務で忙しい中、家族ができない部分を安全に配慮して小規模多機能三和がしてくれているのはすごい。職員さんも楽しめたらいいと思う。 ・ご利用者の日々のご様子を写真で見せて頂き、皆さんとても良い笑顔で楽しそう。手作り保存食（シソの葉ジュースや梅シロップ）作りも経験豊かな皆さんだからこそその技。そんなお知恵を私も学びたいものだ。 ・一度、こよし会で皆様と学び、交流させていただいたが良さ思いつ。 ・高齢になると家にこもりがちになるが、こうして外の空気に触れてリラックスされ気持ちも前向きになると思う。 ・利用者の皆さんが今後も近隣保育園やご近所の方との交流や地域活動に参加できるよう支援をお願いしたい。 ・資料から積極的だと思う。様子を知ることができた。</p>	<p>●散歩やドライブを積極的に取り入れ、屋外で過ごすことで、地域の方々と交流の機会を持つ。 ●センターの畑で収穫したものを（焼き芋、枝豆等）を地域の方々にお配りできるように回覧板等でお知らせする。 ●「こよし会」にご利用者も参加できるよう支援する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>●地域の困りごとや事業所での困難事例を議題に上げ、介護職員と共に、意見交換を行い、より良い支援に繋げる。</p>	<p>・今年度は小規模三和における事例を紹介させていただく機会を持つことが出来た。それぞれの視点より様々な意見をいただくと、小規模三和の支援の幅も広がるので、今後も継続的に事例紹介を行っていききたい。 ・運営推進会議に介護職員も参加し、また、本体事業所の千手よりも多くの専門職の皆さんより参加いただいている。皆様と顔を合わせるよい機会となり、お話を聞かせていただくことで地域への意識を持つことが出来た。運営推進会議に順番に参加を調整し、地域との繋がりの場として活用していきたい。</p>	<p>・困難事例を取り上げ、とても勉強になる。 ・課題に対して十分に意見交換がされていた。 ・困難事例の議題では、毎回委員の皆さんから様々な視点で意見交換が行われており、事業所としても出された意見を今後の支援に繋げようという姿勢が伝わる。また、会議に事業所職員が入れ替わりで参加され、事業所全体でより良い運営に繋げよう取り組まれているように感じた。 ・各分野の方々からお話を伺う機会に恵まれ、大変勉強になった。そしてお仕事やご苦労を知ることができた。私は専門的な事はわかりませんが、お聞きしたことで、とても役に立つことも多くあった。話し合いの場はとても貴重。意見交換からより良い今後へ繋がると思う。 ・介護職員さんの参加も職場の雰囲気を知ることにもなり有難い。 ・他の意見をお聞きするのは勉強になる。 ・定期的にしっかり行われている。</p>	<p>●地域の困りごとや心配な方々を地域全体で発掘し支えていけるよう、会議を通じて情報交換の場を設ける。 ●会議に各職員が参加できるよう調整し、地域の中での事業所の役割を理解する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>●地域の方々に災害時、緊急時に活用していただけるようにサポートセンターの利用方法のPRを進める。 ●運営推進会議委員の方へ防災訓練への参加を求める。</p>	<p>・避難訓練を行っているが、今回は地域の方からの参加は調整できなかった。地域の方から参加していただくことで、サポートセンターの防災環境の整備や使い方の理解にもつながると考えられる。次年度は避難訓練の参加も促し、地域におけるサポートセンターの在り方の周知に繋げていきたい。 →災害の内容により活用方法は異なりますが、地震発生時には地域の避難所は小学校になっていることが多いです。小学校の避難所には多くの方が集まるため、車いすの使用、認知症の症状から落ち着きが見られなくなってしまうなど、周りへの配慮が必要になることが考えられます。サポートセンターでは数は限られますが車いすトイレや個室、ベッドがありますので災害発生時に避難していただくことで、少しでも過ごしやすい環境を提供できるかと思えます。信濃川が近いので水害時にはサポートセンター千手と連携し安全を確保できるサポートセンターへ避難を支援いたします。災害時に避難する選択肢として考えていただければと思います。</p>	<p>・防災訓練を実施していることは知っていたが、参加したことはない。 ・防災訓練など参加する機会があれば、参加してみたいと思う。 ・貴事業所は地域の中でとてもたよりになる存在だと思う。地域の方からの訓練参加はなかったようだが、まずは参加に繋がるきっかけづくりから取り組むことも有効ではないかと思った。 ・事業所内でしっかり取り組まれている。 ・防災訓練の取り組みを写真で紹介いただき、とても分かりやすい。いざとなると慌ててしまい、なかなか行動に移せるのか気になるが「備えあれば憂いなし」で心配も軽減され安心である。機会があれば地域の方々にも是非参加頂き、皆さんで訓練できたらと思う。 ・継続することで職員さんの本番の行動に繋がると言われている。 ・防災訓練の様子を写真で見た。実際行えシミュレーションをすることは大切なので良いと思う。 ・災害時の活用方法がよく分からないです。 へ</p>	<p>●運営推進会議委員の方へ防災訓練への参加を求める。 ●地域の方々に災害時のセンターの活用方法を回覧板等でPRを進める。</p>